

# SDGs啓発冊子「TORIDE SDGs ACTION NOTE」 の発行について

# 取手市におけるSDGs推進の取り組み

- ・ 令和4年4月1日 取手市SDGs推進本部 設置
  - ・ 令和4年5月9日 第1回取手SDGs推進本部会議
- 「広報とりで」でのSDGs連載・関連ゴールの紐づけ、  
課名掲示板におけるSDGsアイコンの掲示、  
ホームページ内でSDGs紹介・関連ゴールの紐づけ等を実施。



これまで取手市にて行ってきたSDGsに関する取り組みをさらに加速させ、SDGsの達成につながる様々な取り組みを行っていることを市民に広く周知することを目的として、SDGs啓発冊子を作成しました。

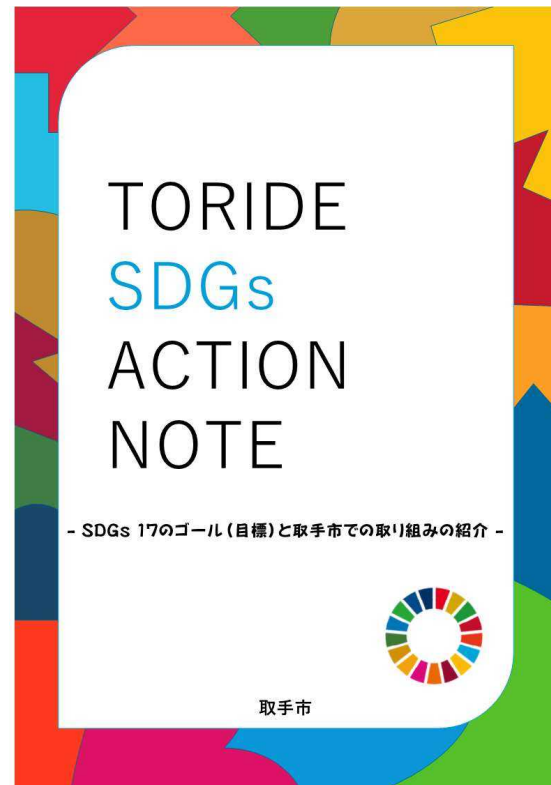
# SDGs啓発冊子について

## SDGs啓発冊子 「TORIDE SDGs ACTION NOTE

### -SDGs 17のゴール(目標)と取手市での取り組みの紹介-

#### 〈概要〉

- ・ 内容：SDGs 17のゴール(目標)の概要の説明と取手市にて行っている事業の紹介
- ・ 規格等：B5判冊子（カラー刷り）
- ・ ページ数：全24ページ（内表紙4ページ）
- ・ 発行部数：3,000部
- ・ 配布先：市内公立中学校の全生徒 等  
（市役所、各公共施設窓口においても配布します。）



# SDGs啓発冊子について

## 【冊子の内容（例）】

SDGsのゴールの趣旨について説明しています。

取手市にて取り組んでいるSDGs関連事業について紹介しています。

13 気候変動に具体的な対策を

### 気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

近年の地球温暖化による気候変動は、世界各地で猛暑や豪雨、大型台風などの異常気象を引き起こしています。また、気候変動は異常気象の直接的な被害だけでなく、環境変化による生態系の破壊や農作物の不作に伴う食糧危機、乾燥による森林火災の発生など、様々な影響を及ぼすことが危惧されています。地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の温室効果ガスを削減することは、世界が一丸となって取り組むべき課題とされており、日本では2020年第73回国連において当時の菅総理が、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指すための取り組みを進めることを宣言しました。

とりで×SDGs!

### 気候非常事態宣言の表明

気候変動がすでに異常な状況であることを認識し、地球温暖化対策に取り決意を示すため、市では令和2年8月3日に、茨城県内で初となる気候非常事態宣言を表明しました。

この宣言では、

- ①4R<sup>※1</sup>と再生可能エネルギーの推進
- ②2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする
- ③気候変動に準備した風水害に強いまちづくり
- ④同じ志を持つ方たちとの連携の4つを方針として掲げています。

※1 Refuse（不要なものを取り除く）、Reduce（ごみを減らす）、Reuse（繰り返し使う）、Recycle（再生して利用する）

### 地球温暖化防止対策講座の開催

市では、気候非常事態宣言を表明した8月に「地球温暖化防止対策講座」を開催し、市民と温暖化について考え、学び機会を提供しています。

令和4年度は、講師に「アマタツ」の愛称でおなじみの気象予報士の天道武史氏を招き、天気予報のスペシャリストから見た異常気象の解説や、天道氏自身の体験談、クイズなどを交えた講演会を開催しました。

16

### コラム de SDGs 二酸化炭素だけじゃない温室効果ガス

温暖化の主な原因とされている温室効果ガス。その中でも排出量占める比率が高い二酸化炭素が注目されていますが、実はそれ以外の物質も温暖化を進める原因になっており、代表的なものにメタンがあります。メタンは二酸化炭素の25倍もの温室効果があり<sup>※1</sup>、日本においては牛のけつや水田など由来する発生源が多い状況です。近年はメタンの発生を抑制する飼料の開発などが進められており、食の安全や豊かさや環境への配慮の両立が求められています。

※1 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）公表の地球温暖化係数より



### ★ サステナブル学習プロジェクト

市では、次世代を担う子どもたちが持続可能な未来をつくるための知恵や価値観を育む「サステナブル学習プロジェクト」という取り組みを進めています。

取り組み初年度である令和4年度は、市内のモデル校の小中学校で地球温暖化をテーマに、「知る」「調べる」「活動をつくる」「活動する」「発表する」という5つのステップのもと、学習を進めています。タブレットを使用した情報収集や、フィールドワーク、実験などを通じて、自発的な課題解決を目指した学習に取り組んでいます。

両プロジェクトは毎年事業内容を見直し、アップデートを進めながら、令和7年度までに市内の全小中学校で展開していきます。

### 市民のこえ

SDGsについてはなんとなく知っていましたが、杉浦先生の授業を通じて地球温暖化や気候変動について、さらに興味を持つことができました。

クラスのみならず一緒に実験したり、調べたりすることで、温暖化対策を「自分事」として考えることができるようになったと思います。

この取り組みを通じて、自分たちで何か活動したいと思い、バドミントンキャップの回収も始めました。ゴミを減らすことで二酸化炭素を削減するとともに、飼料途上国の子どもたちへのフロン購入のために寄付することを考えています。（朝田美咲さん）

17

（見開き紹介ゴールのみ）  
ゴールに関連するコラムを掲載しています。

いくつかのゴールでは市民のこえを紹介しています。

# SDGs啓発冊子について

## 【なぜ中学生に配布するのか？】

- ・ 戸頭中学校・戸頭小学校で実施している「サステナブル学習プロジェクト」や、学校給食におけるSDGs料理の提供等、教育現場にてSDGsに触れる機会が多い。  
→冊子配布により、さらに理解・関心を深めることができるのではないかと。  
内容が市の事業紹介と小学生に配布するには難しいため、中学生に配布する方が適切と考えた。
- ・ SDGsの達成期限である2030年は、いまの中学生（13歳～15歳）が成人し、社会に出ていくくらいの時期。  
→中学生が大人になった2030年にどんな社会を実現したいか、考えてもらうきっかけとしてほしい。
- ・ 家庭に持ち帰って、家族みんなでSDGsについて話題にしてもらいたい。

# 市ホームページのご案内

SDGs啓発冊子の概要やデータにつきましては、市ホームページでも公開していますので、ぜひご覧ください。

『SDGs冊子啓発冊子「TORIDE SDGs ACTION NOTE」を発行』

<https://www.city.toride.ibaraki.jp/seisaku/shise/machizukuri/sdgs/actionnote.html>

問い合わせ先：取手市 政策推進部 政策推進課 企画係（担当者：中川・長沼）

電話：0297-74-2141（内線 1212）

E-mail：kikaku@city.toride.ibaraki.jp

